

第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

大学コンソーシアムとボランティア



開催日時：2017(平成29)年 10月7日(土)、8日(日)

開催場所：沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

共 催：全国大学コンソーシアム協議会・一般社団法人大学コンソーシアム沖縄

後 援：沖縄県、各報道機関他

第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

1. 開催日

2017(平成29)年 10月7日(土)13:00~20:30

8日(日) 9:30~11:30

※OISTの施設見学は10月7日は10:00~11:50、8日は12:30~14:30の希望者対象で、Apollonからの事前申込みが必要となります。

2. 開催場所

・フォーラム:沖縄科学技術大学院大学(大講堂)(沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1)

※基調講演・シンポジウム会場の収容規模:約500人

・情報交換会:恩納村内ホテル(調整中)

3. 参加対象者:大学コンソーシアム関係者、高等教育機関の教職員・学生・研究者、自治体、企業、一般

4. 全体テーマ

テーマ:「大学コンソーシアムとボランティア」

[大会趣旨]

2016年度に開催された第3回大学コンソーシアム沖縄のテーマは「ボランティア精神」でした。シンポジウムでは大学生による国連ボランティアへの参加の話、また国際協力機構の沖縄センター長による青年海外協力隊を中心とした説明、そして地元大学教授からは現在沖縄で深刻な課題でもある子どもの貧困に対して大学生のボランティア組織が取り組む教育支援事例の紹介がありました。終了後、このテーマについて更に深めて追究したいという要望が幾つかの連携校からあがりました。今回は、その要望を第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの場で実現したいと思います。

「ボランティア精神」には、自発性、非営利性、公共性が宿ります。そのなかでもボランティアという言葉の語源でもある「自発性」は、自ら率先してやる、自分の意思で行う行為です。つまり他者や状況から押し付けられたり、命じられたりしないことをさします。次に「非営利性」は、無償性、すなわち経済的な報酬を期待しないことです。しかしボランティアそのものは、有償性を否定するものではなく、経済的な対価を活動の目的としない、ということです。更に「公共性」は、社会性あるいは公益性とも言われ、他者や社会に何らかの意味で役に立つことを指します。自分とは直接関係がなく、私的な利害関係のないものへの支援を通じて個別の課題が社会的な課題へと変換されます。その他、ボランティアを通じてやりがいや自己実現をするという意味で「創造性」、また他者につながり感謝されることによりボランティア活動で自らの「生きる力」を涵養することもできます。

このように「ボランティア精神」あるいは「ボランティアリズム」は、個人の無償活動や一方的な他者の支援を超え、社会をより豊かで幸福にする可能性を秘めています。それをやがて市民社会を担う大学生が、理解し実践を通じてその意義を体得することは、現代社会をよりよくする

ためにも重要です。

ボランティアリズムは、また人々の間に生じた様々な格差を是正する潜在能力を持っています。昨今日本でも問題となっている子どもの貧困といった教育格差は、主にその家庭の経済格差と健康格差が背景となっています。これらの課題解決のために、もちろん政府やNGOも取り組んでいますが、果たして組織の立ち上げだけで改善されるのでしょうか。

今回の第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムでは、大学生を含む大学コンソーシアムがボランティア活動へ参画することによる社会へのインパクトについて皆さんと考えるため、テーマを「大学コンソーシアムとボランティア」といたしました。基調講演では、グローバルな視点から、現代社会にボランティアリズムが必要不可欠である理由や、大学におけるボランティア教育の重要性について理論を再確認し、またシンポジウムではボランティア実践者も加わってのディスカッションを展開します。願わくは、本フォーラムに参加後、それぞれの大学にとってどのようなコンソーシアム(共通の目標に向かう)活動が可能であるか、更にボランティアによる“実践者—受益者”への双方向の裨益効果をそれぞれの大学の学生に体得してもらうためにはどのような連携した仕組みづくりが可能なのか、といった今後の活動のヒントが得られる場となれば幸いです。

5. プログラム(案) ※注1

第1日目：2017(平成29)年10月7日(土) 於：沖縄科学技術大学院大学

時間	内容	場所
9:30~10:00	大学視察希望者(事前予約済者対象)受付	大講堂前ロビー
10:00~11:50	沖縄科学技術大学院大学視察 ※注2	構内全般
11:30~13:00	フォーラム受付	大講堂前ロビー
12:00~13:00	ポスターセッション	トンネルギャラリー
12:00~12:30	全国大学コンソーシアム協議会総会	(場所調整中)
13:00~13:15	《全体司会》司会者：小川 寿美子(名桜大学教授) 挨拶 ・大学コンソーシアム沖縄代表理事 大城 肇 ・全国大学コンソーシアム協議会代表幹事 川野 祐二 ・沖縄県知事(調整中) ・内閣府 沖縄振興局(調整中)	大講堂
13:15~14:05	基調講演 Mr. Olivier Adam (国連ボランティア計画 (UNV) 事務局長) テーマ：世界の平和と開発を推進するユースボランティア	大講堂
14:10~15:00	ゲスト・スピーカー 講演 I Ms. Agnes Chan (歌手・教育博士) テーマ：みんな地球に生きるひと	大講堂

15:00~15:20	講演Ⅱ Dr. Peter Gruss (沖縄科学技術大学院大学 学長) テーマ: OIST と日本の将来について	大講堂
15:20~16:00	ポスターセッション	トンネルギャラリー
16:00~17:45	シンポジウム ・テーマ: 大学コンソーシアムとボランティア ・シンポジスト: ① Mr. Olivier Adam (国連ボランティア計画 (UNV) 事務局長) ② Ms. Agnes Chan (歌手・教育博士) ③ 中村 安秀氏 (大阪大学 名誉教授、国際ボランティア学会 会長) ④ 木村 泰政氏 (UNICEF (国連児童基金) 東京事務所 代表) ⑤ 布村 幸彦氏 (公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副事務総長) ⑥ 今井 絢一氏 (関西学院大学社会学部 4 年生、国連ユースボランティア)	大講堂
18:00	情報交換会へ移動 (無料シャトルバス)	懇親会場到着: 恩納村内ホテル (18:30頃到着)
18:15	情報交換会に参加しない方は那覇市内または恩納村内ホテルへ移動 (無料シャトルバス)	那覇市内到着: (19:00~19:30頃到着予定)
19:00~20:30	情報交換会	恩納村内ホテル (調整中)
20:30	那覇市内または恩納村内ホテルへ移動 (無料シャトルバス)	那覇市内到着: (21:30~22:00頃到着予定)

※沖縄科学技術大学院大学視察参加者の昼食時間は、12:00~13:00 (総会参加者は12:30~13:00)

第2日目: 2017(平成29)年10月8日(日) 於: 沖縄科学技術大学院大学

時間	内容	場所
9:00~9:20	受付	大講堂前ロビー
9:30~11:30	分科会	各分科会会場
12:00	那覇市内へ移動 (無料シャトルバス)	那覇市内到着: (13:00~13:30頃到着予定)
12:00~12:30	大学視察希望者 (事前予約済者対象) 受付※注2	大講堂前ロビー
12:30~14:30	沖縄科学技術大学院大学視察	構内全般
15:00	那覇市内へ移動 (無料シャトルバス)	那覇市内到着 (16:00~16:30頃到着予定)

※沖縄科学技術大学院大学視察参加者の昼食時間は、11:30~12:30

※注1: プログラムは変更する場合がございますので、予めご了承ください。

※注2: OIST視察を2時間としておりますが、参加人数により時間に長短がございますのでご了承ください。

6. 分科会 10月8日(日) 9:30～11:30

・第1分科会(場所:調整中) <担当:一般社団法人大学コンソーシアム沖縄>

テーマ	持続可能な発展と環境法政策
内容	「環境権」「環境紛争における和解の意義と限界」「持続可能性アセスメント」 経済の発展、都市部での人口増加による環境負荷が増大する中、現在および将来世代のための持続可能な発展が希求されている。環境問題の解決のための議論を展開し、健全な環境を次世代に引き継いでいきたいと考えている。
報告者	柳 憲一郎(明治大学法科大学院 教授)
	上田 宏和(創価大学 助教)
	長島 光一(帝京大学 助教)
コーディネーター	朝賀 広伸(創価大学 教授)

・第2分科会(場所:調整中) <担当:一般社団法人大学コンソーシアム沖縄>

テーマ	ボランティアリズムによる人づくり
内容	世界がより公正な社会を実現するため、社会の格差を是正する概念と行動にボランティアリズムがある。分科会では、沖縄で実際に大学生のボランティアが取り組む「子どもの貧困」対策などを事例に、福祉と教育の分野におけるボランティアの双方向性の裨益効果(実践者と受益者の人づくり)について紹介する。
報告者	小川 寿美子(名桜大学 教授)
	本村 真(琉球大学 教授)
	山内 彰(沖縄女子短期大学 非常勤講師)
コーディネーター	渡邊(玉城)直美(沖縄キリスト教学院大学 講師)

・第3分科会(場所:調整中) <担当:一般社団法人大学コンソーシアム沖縄>

テーマ	産学の「連携」から「共創」へ
内容	産学連携から生み出される成果をより彩り豊かに、実り多きものにするため超えるべきハードルを、多方面の産学連携経験者により議論する。人材の流動性を上げ、より自由な議論・研究のできるプラットフォームの発展への展望を議論する。
報告者	鹿島 光司(株式会社朝日工業社 技術本部)
	中村 友二(東京工業大学 未来産業技術研究所)
コーディネーター	鹿島 光司(株式会社朝日工業社 技術本部)

・第4分科会（場所：調整中）＜担当：公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩＞

テーマ	地域貢献とボランティア
内容	地域学習 / 生涯学習の促進と地域振興を両目的としてネットワーク多摩は「多摩・武蔵野検定」を実施しています。一般人の有料検定とともに、合格者へのさらなる学習のための講座を開設したり、児童生徒に対しては無料にして郷土研究のきっかけ作りをボランティア事業として行っています。「まちづくりコンペ」は、学生たちのまちづくりの実践活動を大学の実践教育の参考例として広く告知し、参加学生にとって教育成果がもっと出るように関係自治体や企業からボランティアでチューターとして参加学生の指導にあたってもらうところに特色があります。これらの事例を紹介することで、ネットワーク多摩のボランティア活動の側面に焦点を置きながら地域貢献や人材づくり事業を大学連携の主要な使命として位置づけ、その強みと課題を紹介します。
報告者	細野 助博（学術・文化・産業ネットワーク多摩 専務理事、中央大学教授）
	西浦 定継（学術・文化・産業ネットワーク多摩 常務理事、明星大学教授）
	糸久 正人（学術・文化・産業ネットワーク多摩 常務理事、法政大学准教授）
コーディネーター	根本 忠宣（学術・文化・産業ネットワーク多摩 常務理事、中央大学教授）

・第5分科会（場所：調整中）＜担当：公益財団法人 大学コンソーシアム京都＞

テーマ	災害時に活躍できる学生ボランティア育成の現状と展望 — 京都、秋田における防災教育の取り組み事例から —
内容	大学における災害ボランティア育成や防災教育について、京都および秋田での取り組み事例を紹介し、今後の防災教育支援や地域連携のあり方について検討を行う。
報告者	石原 凌河（龍谷大学政策学部 講師）
	及川 真一（日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科 助教、赤十字防災ボランティアステーション チーフ）
コーディネーター	廣渡 太郎（日本赤十字秋田看護大学看護学部 教授、赤十字地域交流センター センター長）

7. 参加費について

申込区分		参加費	情報交換会	報告集	合計
A：参加のみ	学生	0円	—	—	0円
	学生以外	5,000円			5,000円
B：参加 + 情報交換会	学生	0円	2,000円	—	2,000円
	学生以外	5,000円	4,000円		9,000円
C：参加 + 報告集	学生	0円	—	1,000円	1,000円
	学生以外	5,000円			6,000円
D：参加 + 情報交換会 + 報告集	学生	0円	2,000円	1,000円	3,000円
	学生以外	5,000円	4,000円		10,000円

8. お申込みについて

第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムのお申込みは、

- (1)フォーラム参加お申込み(参加費・情報交換会費・報告集)と
- (2)無料シャトルバス・沖縄科学技術大学院大学視察・お弁当・宿泊手配の2つのお申込みフォームがございます。

(1)フォーラム参加(参加費・情報交換会費・報告集)のお申込みについて

① 参加申込方法

参加申込みは専用のWebサイトからの申込みとなります。専用のWebサイトには、大学コンソーシアム京都(<http://www.consortium.or.jp/project/zenkoku-conso/forum>)または、大学コンソーシアム沖縄の公式ホームページ([URL http://www.consortium-okinawa.or.jp/](http://www.consortium-okinawa.or.jp/))からリンクしてください。

② 参加申込期間・支払い期限・参加費支払い方法

- i) 参加申込期間:2017(平成29)年 7月18日(火) 10:00～8月29日(火) 23:59
- ii) 参加費支払い期限:2017(平成29)年 9月8日(金) 24:00まで
- iii) 参加費支払い方法:

- ・申込み手続き完了後、郵送で払込票が届きます。
- ・最寄りのコンビニエンスストアで参加費の支払いを行ってください。取り扱い可能なコンビニエンスストアは郵送する払込票の裏面に記載しておりますので、ご確認ください。

※お支払いいただく参加費については、印刷費、Webシステム運営費、通信費等、諸準備に使用いたします。台風による自然災害や主催者の都合による中止以外は、いかなる理由があっても返金等には応じられませんので、予めご了承ください。

※申込み手続きと参加費の支払いが完了していない方は参加できません。

※報告集の代金をお支払いいただいている場合は、欠席された方にも後日送付いたします。

(2)貸切バス(無料シャトルバス)・沖縄科学技術大学院大学視察・お弁当・宿泊の申込みシステム(Apollon)について

無料シャトルバス・沖縄科学技術大学院大学視察希望者[1日目(10:00~11:50)、2日目(12:30~14:30)]・お弁当・宿泊手配をご希望の方は、Apollonシステム(日本旅行)からの事前お申込みが必要となります。

ApollonのURL:<https://v3.apollon.nta.co.jp/zenkoku-conso>

① 貸切バス(無料シャトルバス)について

10月7日、8日の2日間、無料シャトルバス(那覇空港・那覇市・恩納村内ホテルー沖縄科学技術大学院大学ー情報交換会会場)を運行いたします。Apollonからのお申込みをお願いします。

事前に申し込みをしていない場合には、乗車できない場合がございますので、ご注意ください。詳しくは、12.(3) 貸切バス(無料シャトルバス)のご案内をお読み下さい。

② お弁当の注文について

沖縄科学技術大学院大学の周辺には、飲食店はございません。昼食は、各自で持参するか、Apollonからお弁当のお申込みをお願いします。お申込終了後のお弁当の申込みはできません。また、代金を支払った後のキャンセルはできませんので、予めご了承ください。

1日目(10月7日)のお昼のお弁当代(お茶を含む):1,000円

2日目(10月8日)のお昼のお弁当代(お茶を含む):1,000円

2日間お弁当を申込み場合は、1,000円+1,000円=2,000円の支払いとなります。代金の支払いは、クレジットカード決済、銀行振込、コンビニエンスストアでの支払いが選択できます。詳しい内容はApollonに掲載しておりますので、ご確認ください。

9. 共催等

- ・共催:全国大学コンソーシアム協議会・一般社団法人大学コンソーシアム沖縄
- ・後援:文部科学省、一般社団法人国立大学協会、一般社団法人公立大学協会、一般社団法人日本私立大学連盟、日本私立大学協会、全国公立短期大学協会、日本私立短期大学協会、全国知事会、朝日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、共同通信社、琉球新報、沖縄タイムス、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、NHK沖縄

(以下申請中)

総務省、毎日新聞社、沖縄県

10. 各会場（沖縄科学技術大学院大学）の様子

(1) 講演会会場 【大講堂】 収容規模:約500名



(2) 分科会会場

① 沖縄科学技術大学院大学 B-250



② 沖縄科学技術大学院大学 C-210



③ 沖縄科学技術大学院大学 C-209



④ 沖縄科学技術大学院大学 CC-MR



11. マップ

沖縄科学技術大学院大学 〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1



12. 会場までのアクセス

(1) バス(有料)の利用の場合

路線バス(那覇空港から約2時間半)

那覇空港国内線ターミナルビルANA側出口すぐの3番乗り場から「120番」の「名護バスターミナル行」に乗車。「大学院大学前(OIST)」下車、徒歩約15分(上り坂)。

片道1300~1400円。

※車内での1万円/5千円札両替不可。

(2) 沖縄本島中南部、恩納村内ホテルから自動車を利用の場合

①古いカーナビのデータで「沖縄科学技術大学院大学」を目的地に設定すると間違った場所に誘導される場合がありますので、このページを印刷してご持参されることをお勧めします。

②有料道路:沖縄自動車道を利用する場合

1) 沖縄自動車道「屋嘉IC」出口を左折→2) トンネル→3) 「恩納(東)」交差点を左折→4) つきあたり信号「恩納(南)」を左折(国道58号線を「那覇」向け)→5) 最初の信号(「沖縄科学技術大学院大学」の道路標識)を左折→OISTと書かれた壁沿いに左折

※学内に駐車場があります。

(3)貸切バス(無料シャトルバス)のご案内

2017年10月7日及び10月8日のフォーラム開催日のみ、以下の①～⑦の行程で無料の貸切バスを準備しております。Apollonによる事前の予約が必要となります。事前予約のない方は乗車できない場合があります。

- ① 各指定のバス停から沖縄科学技術大学院大学(OIST)行
- ② OISTから情報交換会会場行
- ③ OISTから各指定のバス停行
- ④ OISTから恩納村ホテル数力所行
- ⑤ 情報交換会会場のホテルから各指定のバス停行
- ⑥ 情報交換会会場のホテルから恩納村内ホテル数力所行
- ⑦ OISTから那覇空港バス停行

※各指定のバス停のマップを9月末頃大学コンソーシアム沖縄公式ホームページやApollonに掲載しますので、ご確認ください。

【2017年10月7日(土)】

① 各指定のバス停から沖縄科学技術大学院大学行(4カ所から発車)

(那覇空港発)

集合場所:那覇空港バス停

発車時刻:第1便 10:30発 第2便 11:30発

(沖縄県議会議事堂前発)

集合場所:沖縄県議会議事堂前バス停

発車時刻:第1便 8:30発 第2便 11:30発

(新都心おもろまち駅前発)

集合場所:新都心おもろまち駅前バス停

発車時刻:第1便 8:30発 第2便 11:30発

(恩納村ホテル数力所から発)

集合場所:恩納村ホテル数力所を循環

発車時刻:第1便 11:00発

② OISTから情報交換会会場のホテル行

集合場所:沖縄科学技術大学院大学構内バス停

発車時刻:18:00発

③ OISTから各指定のバス停行

(OIST発→新都心おもろまち駅前→沖縄県議会議事堂前)

集合場所:沖縄科学技術大学院大学構内バス停

発車時刻:18:15発

※各便ともバスの定員に達し次第順次バスが出発します。

④ OISTから恩納村ホテル数カ所行

集合場所: 沖縄科学技術大学院大学バス停

発車時刻: 第1便 18:15発

⑤ 情報交換会会場のホテルから各指定のバス停行

集合場所: 情報交換会会場のホテル

発車時刻: 第1便 20:30発

⑥ 情報交換会会場のホテルから恩納村内ホテル数カ所行

集合場所: 情報交換会会場のホテル

発車時刻: 第1便 20:30発

【2017年10月8日(日)】

① 各指定のバス停から沖縄科学技術大学院大学行き(3カ所から発車)

(沖縄県議会議事堂前発)

集合場所: 沖縄県議会議事堂前バス停

発車時刻: 第1便 8:00発

(新都心おもろまち駅前発)

集合場所: 新都心おもろまち駅前バス停

発車時刻: 第1便 8:00発

(恩納村ホテル数カ所から発)

集合場所: 恩納村ホテル数カ所を循環

発車時刻: 第1便 8:15発

④ OISTから恩納村ホテル数カ所行

集合場所: 沖縄科学技術大学院大学バス停

発車時刻: 第1便 12:00発 第2便 15:00発

⑦ OISTから那覇空港バス停行

集合場所: 沖縄科学技術大学院大学バス停

発車時刻: 第1便 12:00発 第2便 15:00発

※各便ともバスの定員に達し次第順次バスが出発します。

※「那覇祭り」の交通規制を考慮し、那覇空港行きのみとなります。ご了承ください。

那覇空港から那覇市内への移動は、モノレールやバス、タクシーなどの公共交通機関をご利用ください。

第14回 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム 大学コンソーシアムとボランティア

【申し込み・プログラムに関する問い合わせ先】

全国大学コンソーシアム協議会事務局(大学コンソーシアム京都内)
TEL 075-353-9100 FAX 075-353-9101
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都内
※受付時間:火～土曜 9:00～17:00

【会場・施設に関する問い合わせ先】

全国コンソーシアム協議会・一般社団法人大学コンソーシアム沖縄事務局
(琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課)
TEL 098-895-8997
e-mail : info@consortium-okinawa.or.jp



University
Consortium
Okinawa